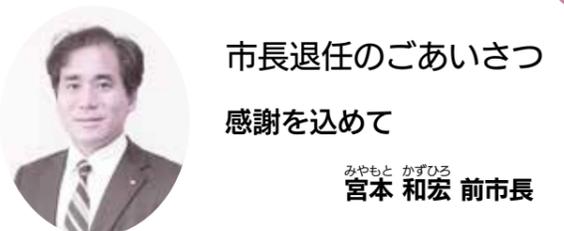


宮本市政3期12年の主なあゆみ

平成23年	宮本市長就任(2月)	市長就任
	東日本大震災復興支援(3月)	東日本大震災復興支援
	えんまどう公園完成(11月)	中心市街地の活性化
平成24年	伊勢遺跡が国史跡に指定(1月)	文化財の保存活用
	歴史文化まちづくり館(守山宿・町家「うの家」)オープン(1月)	中心市街地の活性化
	第1回 ルンオールアート キッズフェスティバル開催(4月)	文化の振興
	ハローインクフレッシュプロジェクトの実施(6月)	教育の充実
	中心市街地活性化交流プラザ(あまが池プラザ)・あまが池親水緑地オープン(7月)	中心市街地の活性化
モーローカー運行開始(12月)	地域交通の充実	
平成25年	守山中学校体育館に守山市民ソーラー1号機設置(3月)	再生可能エネルギーの推進
	市の人口8万人達成(10月)	「住みやすさ」の充実
	勝勝4号雨水幹線(駅前グリーンロード)完成(10月)	安全・安心のまちづくりの推進
平成26年	セルパ守山の地下に「チカ守山」オープン(2月)	中心市街地の活性化
	守山まるごと活性化プランを策定(3月)	市域全体の活性化計画
	守山市民球場リニューアルオープン(4月)	社会体育施設の改修
平成27年	守山市都市計画マスタープラン策定(2月)	都市計画の総合的指針
	浮気保育園等改築事業(3月)	待機児童対策
	立田町に「ラウンドアバウト(環状交差点)」完成(3月)	安全・安心のまちづくりの推進
	循環型ふるさと「農」税として、ふるさと納税リニューアル(6月)	農産物などを返礼品を拡充し守山市をPR
	守山市教育行政大綱策定(9月)	教育の充実
平成28年	守山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定(10月)	地方創生
	ピワイチサイクリングの推進(3月)	地方創生
平成29年	市立守山中学校 新校舎完成(11月)	学校環境の充実
	幼稚園預かり保育の開始(4月)	待機児童対策
	cocotto MORIYAMA オープン(8月)	中心市街地の活性化
	守山市避難行動要支援者名簿に関する条例の施行(10月)	災害時における避難行動要支援者に対する支援対策の推進
	守山市環境学習都市宣言を制定(10月)	環境センターの更新
平成30年	守山市環境施設の建設に関する基本協定書調印(11月)	環境センターの更新
	守山市民病院が滋賀県済生会への経営移行(4月)	市民病院の改革
	守山市つなぐ保育園人材バンク開始(7月)	待機児童対策
平成31年(令和元年)	守山市指定文化財(史跡)「大庄屋諏訪家屋敷」オープン(7月)	文化財の保存活用
	新市立図書館オープン(11月)	読書日本一のまち
	新・守山版ネウボラ創造プロジェクトの始動(8月)	妊娠前から学齢期までの支援の推進
	守山市役所にコワーキングスペースオープン(11月)	起業家のあつまるまちづくりの推進
	「灯りてつなぐ、守山2019」でギネス世界記録達成(12月)	市制施行50周年記念事業
令和2年	新型コロナウイルス感染症対策(感染拡大防止への取り組みと各種支援)の実施(1月~)	感染症対策
	第5次守山市総合計画後期基本計画(令和3年4月~令和8年3月)を策定(3月)	「豊かな田園都市 守山」の実現
	済生会守山市民病院の新館(リハビリテーションセンター・健診センター)オープン(4月)	市民病院の改革
	守山銀座ビルグランドオープン(5月)	中心市街地の活性化
	市制施行50周年(7月)	市制施行50周年
令和3年	守山みらい懇談会の開催・提言(10月)	50年先の「豊かな田園都市」をめざす指針
	待機児童の解消(4月)	待機児童対策
	各圏域地域包括支援センターの整備(北部:平成28年10月開所、南部:平成31年4月開所、中部:令和3年4月開所)	高齢者の包括的なサービス推進体制の構築
	もりやまエコパーク交流拠点施設オープン(4月)	環境センター周辺の整備
令和4年	新型コロナウイルスワクチン接種の実施(4月~)	感染症対策
	市制施行50周年記念式典・記念講演(8月)	市制施行50周年記念事業
	新環境センター稼働(10月)	環境センターの更新
	市の人口8万5,000人到達(1月)	「住みやすさ」の充実
	守山市新庁舎「つなぐ、守の言」の工事着工(1月)	新庁舎整備事業
	JR守山駅東口における新施設整備等に関する具現化方針確定(1月)	企業誘致
	守山市立の全中学校で自校方式での給食を開始(9月)	教育の充実



市長退任のごあいさつ  
感謝を込めて

みやもと かずひろ  
宮本 和宏 前市長

平成23年2月から、これまで3期12年にわたり、守山市長として、『住みやすさ日本一が実感できるまち 守山』の実現を目標に掲げ、また、守山市の最大の財産は、「市民力」「地域力」であり、市民の皆さまと共にまちづくりに取り組んでまいりました。

とりわけ、最重要課題の「環境センターの更新」、市民病院の経営改革、待機児童対策、義務教育施設の耐震化や自校方式での中学校給食の開始、世代や属性を超えた相談支援体制の構築、赤野井湾の再生など、まちづくりに一定の方向付けができたのではないかと考えております。

これも、多大なるご支援ご協力を賜りました市民の皆さまのおかげであり、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、いよいよコロナ禍の終息が見えつつあります。また、「デジタル化」「脱炭素社会」「生物多様性」など、今や時代の大きな転換点を迎えています。

守山市行政の変わらぬ役割は、市民の皆さまの「幸せ」の実現に向けて、寄り添いながら、市民生活、企業活動、教育・福祉などをしっかり支えていくことです。

森中 高史新市長の下で、行政と市民の皆さまが手を携えるなか、守山市が「人・自然・びわ湖、みんなが幸せなまち」として、より一層発展することを心より期待しております。

新市政に対しましても、市民の皆さまの変わらぬご支援ご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

森中市長の思いを知っていただける機会です。ご視聴ください。

- ・**びわ湖放送 守山ニュース**  
「新・守山市長に聞く! つながりで切り拓く『守山の新時代』」  
前編: 3月 3日(金) 4月 7日(金) (再放送) 午後8時20分~  
後編: 3月17日(金) 4月21日(金) (再放送) 午後8時20分~
- ・**有線放送**  
市長インタビュー「新市長に聞く」  
3月16日(木) 午後6時30分~  
3月17日(金) 午前11時45分~(再放送)  
3月20日(月) 午前7時~(再放送)

ほたるのいる環境や新図書館など、住みやすさのまちだと思えます。子どもの時、喘息で両親に負担をかけていました。医療費無料など子育て支援を拡大して、子どもがたくさんいる元気なまちになるよう期待しています。



みやはら ゆうた  
宮原 結大さん  
守山南中学校  
生徒会長

相談窓口が散在していることが課題です。新庁舎の建設で「相談窓口の一本化」が実現することを目指しています。

在宅介護の相談では各種制度を利用して支援する必要があります。



ふくだ ともえ  
深田 知洋江さん  
介護事業所  
ケアマネジャー  
(立田町)

食への関心が高まり、農業の良さを認識する若い人は増えています。若手の新規就農者と経験豊かなベテラン農家が交流する機会が増えると、ワインウインの関係になるのではないかと期待しています。



かわい れおと  
川井 玲央人さん  
新規就農者  
(笠原町)

コロナ禍で子どもたちの学校行事を制限され、辛いことも多かった反面で、学校のデジタル化が進んだのは良いことだったと思います。子育てしやすい環境の充実を期待しています。



にしむら たくや  
西村 卓也さん  
市子ども会連合会 会長  
(小浜町)

森中市政に期待する声

# 森中市政 スタート

1月の市長選挙で当選した第6代 森中 高史市長が、2月20日、市民や職員に迎えられて初登庁しました。就任式では「市民や職員の皆さまと一緒に、全国のモデルとなるような、守山の新時代を切り拓いていきたい」と挨拶、森中市政がスタートしました。



もりなか たかふみ  
森中 高史

東京大学法学部卒。平成14年 総務省に入省。平成20年 守山市役所市長直轄事務監(2年4か月間)。首相官邸や岡山県庁出向などを経て、平成30年に滋賀県庁総務部管理監、商工観光労働部長、総務部長(4年間)。令和4年 総務省消防庁地域防災室長を最後に退職。43歳。吉身在住  
趣味: 県内巡り、体を動かすこと

市長就任のごあいさつ

## 全国のモデルとなるようなまち、守山を皆さまと一緒に作り上げます!

2月20日に守山市長に就任いたしました。全国でも稀有な、人口増加が続く活力あるまち、守山の市政を預らせていただく重責に、身の引き締まる思いです。

国・県・市での20年の行政経験を活かし、「徹底現場主義」(とにかく現場に行き、参加する)を貫いてまいります。

守山は、自然環境に恵まれ、自然災害が少なく、交通アクセスに優れ、子育てや教育環境が良い、住みやすいまちです。優良企業の立地が進み、守山駅前を中心とする中心市街地のにぎわいづくりや湖岸のポテンシャルを活かした活性化の動きなども進んでいます。

このような前向きな動き、守山を「伸ばす」施策を、先頭に立ってさらに進めてまいります。

一方で、コロナ禍に端を発する不登校児の増加、さまざまな困難を抱えている方々に寄り添った施策の必要性、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくための医療・介護・福祉の一層の連携・強化、地域の担い手不足への対応など、市民生活に「寄り添った」施策の充実も求められています。

若さと政策実行力で、10年後、20年後を見据え、人・自然・びわ湖、みんなが幸せなサステナブルなまちづくりを進めます。市民の皆さま、全国のモデルとなるような守山の新時代を一緒に作り上げていきましょう!

何とぞ、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。